

## 学校評価 自己評価結果

～教育委員会への『報告』より抜粋

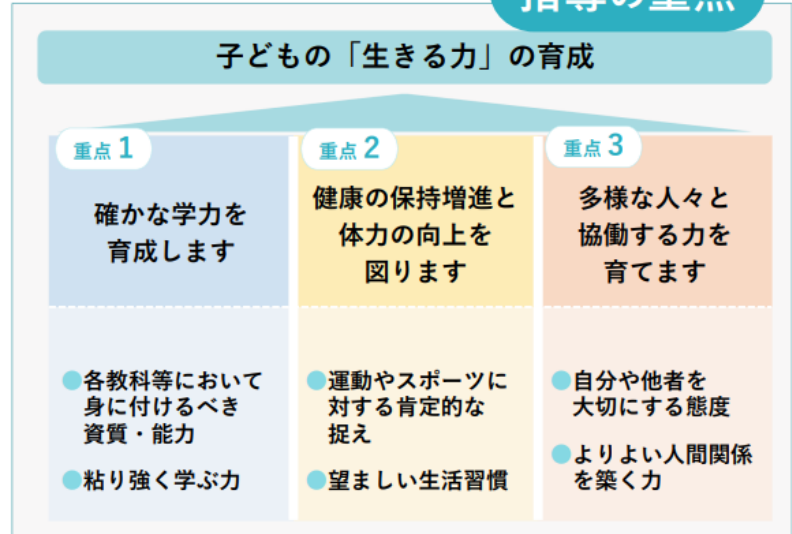
『学校教育法』及び『学校教育法施行規則』の規定に基づき、今年度も学校評価を行いました。

横須賀市教育委員会では、指導の《重点 1～3》(右図)に対応させる形で学校評価の様式を指定していません。これを踏まえる形で自己評価を行いました。

★昨年、回答のご協力をいただいた『学校評価アンケート』の結果につきましては [web サイトに掲載](#)いたします。

横須賀市教育委員会

### 指導の重点



### ● 学校教育目標

「かがやく心 かがやく力」～ことばみがき ころもみがき～

### ● 重点目標 (目指す子どもの姿)

重点1	重点2	重点3
<b>重点目標</b> 学力を向上させる	<b>重点目標</b> 健康に関心をもち運動に親しむ子を育成する	<b>重点目標</b> 豊かな心の育成を図る
<b>目指す児童像</b> か…考える子 が…がんばる子	<b>目指す児童像</b> き…きたえる子	<b>目指す児童像</b> や…やさしい子
具体的な取組		
<b>基礎学力の向上</b> ・学校研究のテーマ「自分の考えを分かりやすく表現できる児童の育成」。朝学習、授業、宿題等の場面を活用して年間を通じて、書く力の向上に取り組む。 <b>家庭学習の推進</b> ・効果的な取り組みは学校全体で共有。親子で取り組める課題を工夫する。 ・授業のユニバーサルデザイン化をさらに進め、日々の授業で実践する。	<b>外遊びの推奨・なわとび週間</b> ・短縄、一輪車、竹馬等で外遊びへの意欲向上を図る。 ・なわとび週間を設定し、全校で取り組む。 ・体育委員会による外遊びの声掛けを常時活動として行う。 <b>生活習慣について</b> ・『ほけんだより』『給食だより』を定期的に発行し各家庭への啓発を行う ・養護教諭、栄養士と連携し、ころもと体の発育について啓発活動を行う。	自分や友達を大切にできる心を育む取組 ・学習や特活で協働して取り組む場を設ける。 ・行事やイベントを計画的に立案し、取組の充実を図る。 <b>きまりを守り子が育つ取組</b> ・進んで守れるよう生活目標を掲示したり、朝会で指導したりする。 ・学校 HP やマチコミを活用し、保護者や地域と適時情報を共有する。

検証の時期と方法		
<p><b>【実現状況】</b> 学校評価アンケートの「学校は、基礎基本の学力を身に付けるように授業の工夫をしていますか。」で肯定的回答を85%以上を目指す。同様に「子どもは授業が分かりやすいと言っていますか。」で肯定的回答85%以上を目指す。また、家庭学習の取り組みに対する質問において肯定的回答の70%以上を目指す。</p> <p><b>【検証方法】</b> 学校評価アンケート 面談等での聴き取り</p>	<p><b>【実現状況】</b> 新体力テストにおいて一昨年度と子どもの体力を比較し、結果を分析する。横須賀市平均と比較し、結果を分析する。 生活習慣が整ったかどうか、年度末に職員への聞き取り調査を行い、共有し指導に生かす。 また、体育委員による外遊び実施調査を年二回行い、全校児童の運動に関する意欲の変化を分析する。</p> <p><b>【検証方法】</b> 新体力テスト アンケートフォーム</p>	<p><b>【実現状況】</b> 学校評価アンケートの「学校は、保護者と連携し生命の大切にする心や、社会のルールを守る態度を育てようとしているか」の項目で肯定的回答は80%以上を目指す。 また、「お子さんは学校に行くことが楽しいと言っていますか」の項目で80%以上の肯定的な回答を目指す。</p> <p><b>【検証方法】</b> 学校評価アンケート</p>
検証結果・成果と課題		
<p><b>【取組状況】</b> 「よく聞いて、よく考えます。友達との学び合いを進めます」を達成するために日々の授業づくりを行い、成果や課題を学力向上委員会で共有してきた。毎月の実践報告とは別に、後期には月ごとに学力向上に向けた具体的な取り組みを発表し、良い実践を深めたり広げたりする機会を作った。</p> <p><b>【達成状況】</b> 「授業の工夫」については、肯定的な回答が89%で目標を4%上回った。 「授業の分かりやすさ」は、肯定的回答が77%。目標を8%下回った。前年度比では2ポイント向上。家庭学習の取り組みについては、肯定的回答が58%で、目標に12%届かなかった。</p>	<p><b>【取組状況】</b> 体育委員会の常時活動として、外遊びを促す取組を行った。二つの『たより』による啓発も継続、養護教諭や栄養士と連携した授業で学習の理解を深めることができた。</p> <p><b>【達成状況】</b> ≪体育委員「外遊びの調査」≫ 外遊びを好きは全校の約7割(68%)、肯定的回答が多い。校庭で遊んでいる児童は全体の約3割(25%)、その他多くの児童は室内で過ごしていることが調査結果から明らかになった。</p>	<p><b>【取組状況】</b> 各教室でのいいところみや、他者を肯定する掲示物など、自分や友達を大切にする取組を続けることができた。学年の実態に応じて交換日記を通して、児童が考えや日常の悩みを相談できる環境を整えた。</p> <p><b>【達成状況】</b> 「生命を大切にする心や、ルールを守る態度」の項目では、81%の保護者が肯定的な回答前年度比で4ポイント向上。 「学校が楽しい」は、85%の肯定的な回答を得て、目標を5%上回った。 昨年度の同様の質問では87%の回答で、前年度と比較すると下回ったことになる。</p>

## 課題解決・次年度の取組

保護者アンケートでは「子どもは授業が分かりやすいと言っていますか。」は、昨年度より2ポイント上がった。児童アンケートでは、肯定的回答が91%であるが、内訳をみると「授業が分かる」そう思う70%、少しそう思う21%、あまり思わない5%、思わない2%である。「授業が分かる」については、今後も向上を目指したい。

家庭学習の取り組みについて肯定的回答が過去5年の平均で67%、今年度は58%と低い。家庭学習を宿題の延長とだけとらえずに、興味のあることを広げたり深めたりするものと捉え、保護者にも懇談会やお便り等で周知していく。子どもたちの家庭での学びを学校でも受け止め、価値づけていく。教師や友達に認められる経験が自信に繋がっていくだろう。

昨年度と比べて良い点としては、「家に帰ってから、学校のできごとを話していますか。」に対する肯定的回答が昨年度より13ポイント上がって79%に戻ったことが挙げられる。今年度学校として児童と保護者に会話が生まれるような宿題・コメント欄を作る等を意識的に取り組んできた。そのような工夫等も一助になったと考えられる。

### 《体力の向上について》

- ・引き続き外遊びの推奨を行い、体力の向上に努める
- ・体育委員会による外遊び奨励の放送を続けつつ、外で遊びたくなるよう積極的に運動の大切さを体育委員会を通して発信していく
- ・体育の学習を充実させ、児童の運動量を増やしていきたい。その為に準備運動では、ストレッチに終始するのではなく、主運動につながる運動を、楽しみながら取り入れていく必要がある。

### 《健康の保持増進について》

- ・今年度の活動を継続して行い健康の重要性を伝えていく。
- ・給食時に給食メニューの栄養について放送をし、好き嫌いせず、栄養バランス良く食べることを働きかけてきた。今後も引き続き訴えていき、健康の保持増進に関心をもてるよう声掛けを行っていく。

保護者アンケートで、「学校は、保護者と連携し生命の大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしているか」では、目標よりも下回った。児童を対象にした「学校のきまりを守っていますか。」の回答は、88%と高い数値が出ている。保護者の回答と併せてみると、(児童は)校内のきまりは守っているが、校外や道路でのきまりが守られていないことが見えてきた。保護者にとっては「もっと守れる。守らせた」と感じていることが分かった。

87%の保護者は、「子どもが学校に行くことが楽しい」と言っているが、子ども自身は75%にとどまっている。ふれあい相談室の活用や、生活アンケートの活用、日々の様子を丁寧に観察することで、安心して楽しく学校生活を送ることができるようにしていきたい。